学校番号	1205

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編 社会と情報　（東京書籍）						
副教材等	授業独自のプリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は、コンピュータを扱えるようになれれば良いというわけではありません。コンピュータを使って私たちの生活をより豊かにしていくための方法について学習していきます。
・コンピュータサイエンスアンプラグドを用いて、体験的な活動を多く行います。
・課題の中には、自ら考え、自分の意見を周りの人に伝えて協力して行う課題も含まれます。これらの課題を通して効果的なコミュニケーションを行う能力を育てていきます。
・課題には積極的に参加しましょう。
　課題には必ず意味があります。課題から得られた経験や技能、知識が情報社会に参画するための能力につながっています。投げ出さずにしっかりと取り組みましょう。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について学習します。また、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養います。さらに、養った能力を用いて情報社会に積極的に参画する態度を身につけることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 定期考査の結果 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報の活用と表現	○情報とメディアの特徴 －情報の信頼性 －メディアリテラシー	○	○		○	ａ：情報やメディアの特徴、ディジタル化に関心を持ち、これらを情報の表現に活用しようとしている。 ｂ：情報機器や素材の役割や活用のあり方について考え、それらを適切に表現している。 ｃ：情報機器や情報通信ネットワークを活用するための技能を身に付け、活用することができる。 ｄ：情報機器や情報通信ネットワークを活用するための知識を身に付け、それらを活用する際の配慮事項を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品 相互評価 自己評価
		○情報のディジタル化 －ディジタルデータの特徴 －情報のディジタル表現	○		○	○		
		○情報の表現と伝達 －情報が伝わる仕組み －伝達のための表現と手段	○	○		○		
2学期	情報社会の課題と情報モラル	○情報化が社会に及ぼす影響と課題 －情報社会の影 －情報モラル	○	○		○	ａ：情報化が社会に及ぼす影響やモラル、セキュリティに関心を持ち、これらを情報社会の課題の解決に活用しようとしている。 ｂ：情報化の役割と影響について考え、望ましい情報社会の在り方について思考を深める。 ｃ：情報セキュリティを高める様々な技能を身に付け、活用することができる。 ｄ：望ましい情報社会を実現するための知識や情報モラルを身に付け、そ	授業観察 ワークシート 定期考査

		○情報セキュリティと法 －情報セキュリティと個人情報 －著作権	○	○	○	○	れらを活用する際の配慮事項を理解している。	
2.学期	望ましい情報社会の構築	○情報システムと人間 －情報システムの発展と進歩 －情報技術と人間社会	○	○		○	ａ：情報システムと情報技術に関心を持ち、これらを望ましい情報社会の形成に活用しようとしている。 ｂ：情報システムと情報技術の役割と影響及び活用のあり方について考え、それらを適切に選択している。 ｃ：問題解決の基礎的・基本的な手段や方法を身に付け、活用することができる。 ｄ：情報システムや情報技術を問題解決に活用するための知識を身に付け、それらを活用する際の配慮事項を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 相互評価 自己評価
		○情報社会における問題解決 －問題解決と情報機器の活用	○	○	○	○		
3学期	情報通信ネットワークとコミュニケーション	○コミュニケーション手段の発達 －メディアとコミュニケーション －コミュニケーションの特徴	○	○	○	○	ａ：情報通信ネットワークに関心を持ち、これらを効果的なコミュニケーションに活用しようとしている。 ｂ：情報通信ネットワークの役割と影響及び活用のあり方について考え、それらを適切に選択している。 ｃ：情報通信ネットワークを活用するための技能を身に付け、効果的なコミュニケーションに活用することができる。 ｄ：情報通信ネットワークを活用するための知識を身に付け、それらを活用する際の配慮事項を理	授業観察 ワークシート 定期考査
		○情報通信ネットワークの仕組み －インターネットの仕組みとプロトコル －WWW と電子メール	○			○		

		○ネットワークの活用とコミュニケーション －情報の発信と受信 SNS、e スポーツなどのサービス	○	○	○	○	解している。また、情報の受信及び発信する際の配慮事項について理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。